

【戦評シート】

平成27年11月22日(日)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所： 秋田市立体育館	記入者： 根市 総 佐藤 潤	
チームA 横手明峰 39	8 - 9 9 - 17 9 - 20 13 - 12	チームB 湯沢南 58

スターター	チームA： #5、#6、#7、#8、#21
	チームB： #4、#5、#6、#7、#8
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

今大会は、3年ぶりの決勝進出となった湯沢南中と、統合以来初の決勝進出となった横手明峰との対戦となった。

第1Q、どちらもマンツーマンディフェンスで試合がスタート。開始4分間は互いに一步も譲らず、4分まで両チーム無得点のまま試合が進む。初得点は横手明峰#8のフリースロー。その後も両チームとも得点が決まらなかったが、開始5分で湯沢南の#5 遠田のミドルシュートが決まり湯沢南が初得点をあげる。残り1分ころから横手明峰のインサイドプレーでの合わせが決まり始め、横手明峰#5 阿部、#8 佐野が立て続けにゴール下のシュートを決め、第1Qを8-7の横手明峰リードで終了する。

第2Q、開始すぐに横手明峰#5 阿部が得点するが、すかさず湯沢南#7 佐藤のバスケットカウントで同点。湯沢南は第2Qからマンツーマンとゾーンを織り交ぜてのディフェンス。横手明峰は横手南のディフェンスを攻めきれず無得点が続く、その間、湯沢南は着実に得点を重ね湯沢南#4 千葉の3Pが決まり横手明峰はタイムアウトを取る。タイムアウト後も湯沢南の勢いは止まらず、着実に得点を重ねる。横手南がタイムアウト第2Qを29-17の湯沢南がリードで終了する。

第3Q、開始早々湯沢南#6 高橋がドライブし得点する。湯沢南はゾーンディフェンスで守り、横手明峰の攻撃を封じる。対する横手明峰はオールコートマンツーマンで対抗するものの、冷静にボールを運び#7 佐藤、#8 高橋のインサイドの得点で湯沢南が徐々に点差を広げる。明峰は#5 阿部がアウトサイドシュートで得点するが点差は縮まらず第3Qを46-26の湯沢南リードで終了する。

第4Qも横手明峰は湯沢南のゾーンディフェンスを崩すことができず、アウトサイドからのシュートを試みるがなかなか決まらない。速攻による得点のみとなり苦しい展開が続く。湯沢南は#7 佐藤、#8 高橋がインサイドで着実に加点し、点差は少しずつ開いていく。横手明峰は試合終盤の#21 米澤、#8 佐野、#5 阿部による4連続得点で反撃し、点差を19点差まで縮めるが、58-39で湯沢南が勝利。湯沢南は今大会初優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。